

第 42 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会（部会①）

開催記録

1 開催概要

- 日 時：令和6年4月10日（水）10：00～11：00
- 場 所：JR 東日本現地会議室
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・谷川 章雄氏（早稲田大学 人間科学学術院 元教授）
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・老川 慶喜氏（立教大学名誉教授） ・小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー） ・古関 潤一氏（東京大学名誉教授・ライト工業株式会社 R&D センター テクニカルオフィサー）
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁文化財第二課 史跡部門 ・港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・港区街づくり支援部 ・東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課 ・東京都 交通局 建設工務部 計画改良課 ・独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 都心業務部 ・鉄道博物館 学芸部 ・JR 東日本コンサルタンツ株式会社 ・東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター ・東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模開発部門 ・東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 ・京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部
事務局 東日本旅客鉄道(株) 京浜急行電鉄(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模開発部門 ・東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 ・京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 他
サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・パシフィックコンサルタンツ株式会社

■ 当日配布資料

1) 議事録確認

- ・ 次第
- ・ 資料1：第41回委員会（3/6）部会①議事録案
- ・ 資料2：第41回委員会（3/6）部会②議事録案
- ・ 資料3：第41回委員会（3/6）部会③議事録案

2) 部会①

- ・ 次第
- ・ 資料1：4街区外構（高輪辻広場）の調査方法について

2 議事要旨

2.1 議事録確認

(1) 開会

- 第 42 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。(事務局)

(2) 議事録確認

1) 第 41 回委員会 (3/6) 部会①の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2) 第 41 回委員会 (3/6) 部会②の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

3) 第 41 回委員会 (3/6) 部会③の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2.2 部会①

(1) 開会

- 第 42 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会の部会①を開会する。(事務局)

(2) 4 街区外構 (高輪辻広場) の調査方法について

- 資料 1 について説明する。(港区)

＜4 街区外構 (高輪辻広場) の調査方法について以下の点を説明＞

- 調査の基本方針はこれまでに実施してきた高輪築堤の調査に準じる。
- 掘削幅が 2m と狭く、作業者の安全を最優先とし、状況に応じて調査方法を検討する。
- 基本的には 1～4 街区の発掘調査の方法を踏襲して実施すると良い。(委員長)
- 4 街区の南端で断面を取っているのので、対比できるようなデータを取ってほしい。(委員長)

(3) その他

- 4-2A 街区で検出した旧東海道の護岸遺構について、3月 18 日付で周知の埋蔵文化財包蔵地に登載した。ホームページへの掲載が完了次第改めて報告する。(東京都)

<部会①・部会③終了後>

- 最後に文化財行政からコメントをもらう。
 - ← 特にない。(文化庁)
 - ← 薩摩台場の文献資料はしっかりと整理してもらいたい。(東京都)
 - ← 日本考古学協会から関係団体へ届いた会長声明は、本委員会で令和5年12月6日に示された「5・6街区及び隣接地区の高輪築堤跡の遺構と文化財的価値について」及び、港区教育委員会が令和3年5月11日に提示した5・6街区に関する要望書の主旨と概ね合致する。事業者には各分野の有識者の方々に加え、行政もオブザーバーとして参加する委員会等を開催して頂き、議事録や資料の公開など、誠意ある対応をいただいているが、引続き要望書についても同様の対応をお願いしたい。(港区)
- 品川駅街区について4月8日に都市計画決定の告示をいただいた。これまでのご指導に感謝する。今後も工事を行いながらの調査となるが、丁寧に対応していきたい。(JR)

(4) 閉会

3 議事録

3.1 議事録確認

(1) 開会

- (事務局 JR) 第 42 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。
- ・ 挨拶
 - ・ 資料確認
 - ・ オンラインの案内
 - ・ 次第説明

(2) 議事録確認

- (事務局 JR) 3つの議事録について修正等の指摘はあるか。修正等があれば委員会終了までに指摘をいただきたい。
- (事務局 JR) 意見がなければ、議事録確認を終了する。

3.2 部会①

(1) 開会

- (委員長) 次第に沿って進める。

(2) 4街区外構（高輪辻広場）の調査方法について

- (港区) 資料 1 について説明する。JR が新東海道と呼んでいる 4 街区内に整備する広場と泉岳寺辻広場については工事計画の深度化により築堤に干渉しない深さでインフラ関連工事が完結することになった。ついては港区が工事に立会い、遺構の有無等を確認する。一方、高輪辻広場については築堤に干渉する深さで工事が行われるため、事前の発掘調査が必要となるが、調査の基本方針は、これまで実施してきた築堤の調査に準じる形としたい。ただし、掘削幅が約 2m と狭いため、作業者の安全を最優先とする。詳細な調査方法は JR や施工会社と調整中であるが、今後大幅な調査方針の変更があった場合は改めて説明させていただきたい。
- (委員長) 質問、意見はあるか。
- (委員長) 基本的には 1～4 街区の発掘調査を踏襲して実施すると良い。これまで 4 街区の南端で断面を取っているのので、それと対比できるようなデータを取ってほしい。

(委員長) 他に何かなければ、次に進める。

(3) その他

(委員長) その他として何かあるか。

(東京都) 4-2 A 街区で検出した旧東海道の護岸遺構について、令和6年3月18日付で港区の遺跡 No.226 として周知の埋蔵文化財包蔵地に登載した。主な時代は近代で、種別は旧東海道の護岸である。東京都遺跡地図情報インターネット提供サービスへの掲載が完了次第改めて報告する。

<部会①・部会③終了後>

(委員長) 最後に文化財行政からコメントをもらう。

(文化庁) 特にコメントはない。

(東京都) 薩摩台場は文献も含めてしっかりと整理してもらいたい。

(港区) 3月25日に日本考古学協会から関係団体へ会長声明が届いている。本委員会で令和5年12月6日に示された「5・6街区及び隣接地区の高輪築堤跡の遺構と文化財的価値について」及び、港区教育委員会が令和3年5月11日に提示した5・6街区に関する要望書の主旨と概ね合致する。関心を持たれている事柄なので、今回改めてご紹介させて頂いた。事業者には各分野の有識者の方々に加え、行政もオブザーバーとして参加する委員会等を開催して頂いている。また議事録や資料の公開など、これまでも誠意ある対応をいただいていると認識している。引続き要望書についても同様の対応をお願いしたい。

(JR) 品川駅街区については、昨年の中時期の議論ののち、都市計画の手続きを進めてきた。4月8日に都市計画決定の告示をいただいた。これまでご指導をいただき感謝する。工事を行いながらの調査となるが、今後ご指導いただきながら丁寧に対応していきたい。

(4) 閉会

(委員長) 他になければ部会①を閉会し、部会③に進める。

以上